



日本老年行動科学会
Japanese Society of Behavioral Sciences for the Elderly

お知らせ No.9

<学会事務局>

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-24-1

電話・FAX: 03(5941)5270

<学会ホームページ>

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsbse/>

締め切り迫る! 老年行動科学講座

平成20年度老年行動科学講座「認知症や介護困難な高齢者に対する心のケア：基礎編」には、おかげさまで順調にご参加申込みをいただいておりますが、まだ若干空席がございます。

お申込みはお早めをお願いいたします。

講座の魅力は、講師から学ぶだけではなくありません。受講者同士の交流も魅力のひとつです。

この機会に、新しい世界を広げ、新しい仲間をつくりましょう！あなたのご参加をお待ちしています！

「介護は、常に介護される高齢者の立場から考え、実践されなければなりません。それを実践するためには心のケアが不可欠です」… 佐藤真一 会長

1. 会場 明治学院大学白金キャンパス(東京都港区)

2. 開催日程および内容

- | | | | |
|-----|----------|------------|--------------------------|
| 第1回 | 7月5日(土) | 「感じる力を養う」 | 講師:佐藤真一(明治学院大学 教授) |
| 第2回 | 8月2日(土) | 「聴く力を養う」 | 講師:佐藤美和子(東海大学 講師) |
| 第3回 | 9月6日(土) | 「話す力を養う」 | 講師:荒木乳根子(田園調布学園大学 教授) |
| 第4回 | 10月4日(土) | 「書く力を養う」 | 講師:峯尾武巳(神奈川県立保健福祉大学 准教授) |
| 第5回 | 11月8日(土) | 「見る力を養う」 | 講師:大川一郎(筑波大学大学院 教授) |
| 第6回 | 12月6日(土) | 「介護する力を養う」 | 講師:佐藤真一(明治学院大学 教授) |

(毎回、10:30~12:00、13:00~14:30、14:45~16:15の3時限構成です)

★6回すべてに出席された受講生の方には、学会より修了証を授与いたします★

3. 受講料

今年度の受講に関しては新たな特典を設定しております。

詳細につきましては、先にご送付致しました講座案内をご覧ください。

講座案内は学会ホームページでもご確認いただけます。

**6月15日
締切です!**

会費納入のお願い

本年度の会費の振り込みはお済みでしょうか？

本会は会員の皆様よりの会費にて運営されております。

本会も研究会から学会になって10周年を超え、より一層実りのある会とすべく努力して参りますので、皆様のご協力の程よろしくお願ひ申し上げます(既に振り込みがお済みの方には失礼致しました。御放念下さい)。

【会費】

- | | |
|------------------|---------|
| 個人会員/年額 | 8,000円 |
| 団体会員/年額 | 30,000円 |
| 学生会員/年額 | 4,000円 |
| 賛助会員/年額一口(何口でも可) | 20,000円 |
- 本会の会計年度は1月1日より12月31日まで
振込先:郵便振替口座 00100-8-567890
加入者名 日本老年行動科学会

★納入状況等、ご不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。

古都でよく学び、よく遊びましょう！

すでにお手元に第2報が届いているかと思いますが、第11回日本老年行動科学会 京都大会の準備が着々と進んでいます。大会長をはじめ関係者一同、張り切って準備中です。

講演・研究発表・事例報告等、昼の部でしっかり学んだ後は、懇親会でおおいに語り合しましょう。関係者一同、ご参加をお待ちしています。この機会に交流の輪を広げましょう！

- 開催期日：2008年9月13日(土)～9月14日(日)
- 開催会場：立命館大学衣笠キャンパス(京都市北区等持院北町56-1)
- テーマ：「高齢になってもまだまだ発達する：地域との連携の中で」
- 大会プログラム

・基調講演：「老年期への発達：経験知に根ざした人生の創出」
守屋慶子氏(立命館大学名誉教授)

- ・シンポジウム
- ・研究発表
- ・ケースワーク(ACS:実践事例検討)
- ・ワークショップ
- ・懇親会(雅楽演奏・マジックショーなどを予定)

●参加申し込みについて

- 1) 参加費 正会員(事前申し込み)7,000円(締切日：**2008年7月31日**)
(当日参加)8,000円
非会員：8,000円
(基調講演のみ：1,000円、京都府内高齢者施設職員：3,000円)
学生・大学院生：2,000円
- 2) 弁当代：1,000円
- 3) 懇親会費：10,000円(学生・大学院生：6,000円)



●問い合わせ先

第11回日本老年行動科学会京都大会事務局(事務局長：土田 宣明)
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
立命館大学文学部心理学研究室気付
FAX: 075-465-7882 E-mail: kyoto11@st.ritsume.ac.jp

★研究発表・
ケースワーク事例
の申し込み締切は
6月30日です。

学会ホームページをご活用下さい

学会の活動や諸手続きについてご不明な点がございましたら、ぜひ一度ホームページをご覧下さい。

入会の手続き、ACSや講座、大会のご案内等はすべてホームページに掲載しています。

メール配信サービス
も学会ホームページ
より登録受付中です！

※学会名簿にメールアドレスを
登録されている方は特に
お手続きは必要ありません。

学会アーカイブより

「実践に役立たない研究、また研究の裏づけを 欠いた実践など、何の役に立つのでしょうか。」

この会は、ふつうの会と違って、単一領域の専門家の集まりではありません。会のパンフにもありますように、さまざまな職業職種の人で構成されています。ホーム職員、ヘルパー、医師、看護婦、お坊さん、栄養士、大学教師、行政マンetc、一もちろんそれにはわけがあります。老化とか老年期とか老人、というテーマは、極めて大きなテーマであり、1 科学領域や狭い学問領域ではとても解明できるものではありません。まさに医学も社会学も栄養学も看護学も心理学も行政も宗教も法律もそしてケアの実践領域もさまざまな領域からの関わりを必要とする巨大な対象なのです。

ところでこのような大テーマの解明のために集まった学問領域を総称して「行動科学」と呼びます。従って、一つの領域の科学、たとえば医学とか経済学、というのと同じ意味で「行動科学」学という学問があるわけではありません。

本会の名称は、日本老年行動科学会です。まさにその名のとおり、さまざまな職種、学問領域の人が集まって、老年・老化・老人という巨大なテーマに向かって、それを解明してゆくことを目的とした会なのです。もちろん日々現実に私たちが行っていることは、小さなことです。老人ホームで痴呆のお年寄りを世話したり、研究室で記憶の実験をしたり、ACSでケアに関する議論をしたり、サマーセミナーで地元の人と意見を交換したり。しかしこれら小さな活動が、少しずつ途切れることなく続いてゆけば、やがてその累積効果は、大きな実になってゆくのではないのでしょうか。

(中略)

本会は設立時から「ケアと研究の出会いの場」たろうとしています。それは組織が大きくなり、それぞれに言葉が通じ合わなくなり、特にケアの実践現場と研究領域がバラバラになってしまうことを恐れたからでした。実践に役立たない研究、また研究の裏づけを欠いた実践など、何の役に立つのでしょうか。行動科学は、「現実性」や「実際性」を強く要求するものであるのです。日本老年行動科学会、というその名が示すとおり、私たちの会は、これからもこの「古い」という未知の巨大テーマに向かって、様々な領域の様々な人々と一緒に、現実に役立つ研究や実践を重ねてゆく一この行きかたで始まったし、現にそうであるし、これからもそうであり続けるべきではないのでしょうか。

…ニュースレターNo. 27 井上勝也 前会長の言葉より

本学会は「日本老年行動科学会」といいます。皆さんは「老年行動科学」とは何だろうと思ったことはありませんか？

学会発足時から10余年を経て、介護の現場も変わり、経営的にも厳しい状況となっています。そんな中で「行動科学なんて難しい学問をしている暇はない」と思うかもしれません。でも、行動科学は机上の空論ではありません。みんなで智恵を寄せ合い、よりよい答えに向かって模索する試みです。小さな積み重ねが、遠回りのようで実は近道であるかもしれません。これまで、そんな気持ちで活動を積み重ね、少しずつ全国に活動が広がってきました。

わたしたちは、会が発足したときの気持ちを忘れないでいようと思っています。

皆さんも、ぜひ会の活動にご参加ください。皆さんひとりひとりが、会の力なのです。

